テレタイム C-X 交換マニュアル

はじめに

テレタイムC-Xの故障機と代替機を入れ替える手順についてご説明します。 代替機にLANアドレス(通信設定)を設定して、クロッシオンから氏名等を受信することができます。

1. 未送信打刻の確認

クロノスPerformanceもしくはクロッシオンにて、故障する前に打刻したデータが反映されているか確認ください。 ※故障機が通信可能な場合、テレタイムC-Xの電源を切入していただくことで、クロッシオンへ打刻が送信されます。

2. 故障機で通信設定の確認

※代替機発送受付の際に通信設定を伺ったお客様

LANアドレス(通信設定)を設定してある代替機を発送しているため、手順2・3は飛ばしてp.3[4. 代替機で通信確認]から操作 をおこなってください。

以下の手順でテレタイムC-XをCツールに接続し、IPアドレス等を確認してください。 ※故障機が起動しない場合、ネットワークを構築したご担当者様にLANアドレス(通信設定)を確認してください。

- ① 故障機を PC に繋げて「C ツール」と接続
 C ツールについては以下のページをご参照ください。

 ! C ツールについて ⇒ P4
- ② [ネットワーク設定]のタブをクリック
- ③ [現在の設定]で
 - · DHCP
 - ・IP アドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・デフォルトゲートウェイ
 - ・DNS サーバー取得
 - ・DNS サーバー





「DHCP」の設定が「使用する」の場合、以下の確認は不要です。

・IPアドレス

- ・サブネットマスク
- ・デフォルトゲートウェイ

※[DHCP]が[使用する]の場合、上記の項目を自動で取得します。

「DNSサーバー取得」の設定が「自動」の場合、以下の確認は不要です。

・DNSサーバー

※[DNSサーバー取得]が[自動]の場合、「DNS」は自動で取得します。

3. 代替機に通信設定を入力

故障機で確認した[ネットワーク設定]画面の内容を、代替機の[ネットワーク設定]画面に設定します。

- ① 代替機を PC に繋げて「C ツール」と接続
- ② [ネットワーク設定]のタブをクリック
- ③ [変更する内容]の以下にチェックを入れ

手順2 で確認した故障機の通信設定の内容を入力

- ④ [反映]ボタンをクリック
- ③で入力した内容が

[現在の設定]に反映したことを確認



Cツール Ver.1.02		-	□ ×
操作	製造番号: パージョン: C02-0924- 5	譜別番号: -X	
実更するが容 (使用しない) D PDF トレス: ゴ サブネットマスク: ブ プッルトゲートウェイ: D NSサーバー和3件: 手動 D NSサーバー:		00歳定 40P. 使用しない アドレス: 00.0.0 ブネットマスク: 00.0.0 フォルトゲートウェイ: 00.0.0 45サーバー取(中) 手動 45サーバー、 00.0.0 45サーバー: 00.0.0 6027ドレス: 00014F001D6C	-

4. 代替機で通信確認

以下の手順で代替機がクロッシオンと通信できるか確認してください。

- ① 代替機を PC に繋げて「C ツール」と接続
- ② [システム設定]のタブをクリック
- ③ [クロッシオン接続確認]の[実行]をクリックして
 [接続に成功しました]と表示されたことを確認
- ※「接続に失敗しました」と表示された場合は
- 代替機に設定したネットワーク設定の内容に
- 誤りがないかをご確認ください。
- また、代替機の再起動をお試しください。
- 解消しない場合は、サポート窓口へお問い合わせください。

5. クロノス Performance で代替機と通信

以下の手順で通信をおこない、運用設定と氏名をクロッシオンに送ります。

- [日常処理]→[通信処理]画面で、
 クロッシオンを選択
- ② [選択通信]をクリック

1#1F 接続 COM1 ☑ 自動検出:	製造番号: - バージョン: -			
システム設定 ネー・ワーク設定 打刻データ ユーザ	-			
- 時刻合わせ PCと時刻同期します 実行				
·運用設定		相左の設定		
□ 時計表示 24H	~	時計表示:	-	
カード読取音量	~	カード読取音量:	-	
リブート時刻: 03:00	した映	リブート時刻に	-	
NTPの使用: 使用しない	\sim	NTPの使用	-	
NTPサーバー:		NTPサーバー:	-	

					-		×
操作	~ (出:	製造番号: バージョン:	C02-0824-X	識別番号			
システム設定 ネットワーク設定 クロッシオン接続確認 クロッシオンとの接続を確認		-ザ- 実行	1				
運用設定 - 変更する内容 □ 時計表示: □ カード読取音量:	24H		NFORMAT	ION		×]
 □ リブート時刻!	03:00			接続に成功	しました		
					OK		-

3 閉じる(○) 1	🐓 接続先 🎯	機種設定 📄 通信	履歴 🔿 移行処理		10 NI	17(H) 📃 XF(M
接続先分類:	(指定なし)	→ 結果:	(すべて) ~				登錄数
接続外	先 接続	/ 電話番号	機種	前回通信	注用	— 8 4	파파
000 クロッシオ	לי לי		ロッシオン				
<	_						
▶ 選択通信	全部通信					今回議会	
接続先	000 クロッシオ	2				一一回加田	
	通信を行なっていません。						
結果	通信ではなうい						
結果機種	道信を口ならい			्री (इन्न			
結果機種	 2目で1743 C クロッシオン 送信内容 	◎ 変更分	○すべて	🔬 保守			
結果 機種	道信で17ならい クロッシオン 送信内容	 ・	○すべて -タ	🔊 保守	<u></u>		
結果 機種	2日で1745 CV クロッシオン 送信内容	 ● 変更分 打刻・集計デ 氏名) すべて ータ 設定 	▲】 保守 ■			
結果 機種	2日マリオシ クロッシオン 送信内容	 ・ 変更分 打刻・集計デ 氏名 グルーブ 	 すべて タ 設定 設定 	▲ 保守			
結果機種	 ユージョンオン グロッシオン 送信内容 	 ・変更分 打刻・集計デ 氏名 グループ 	 すべて -タ 設定 	▲ 保守			
結果 機種 通信モード	 ^{通信で行なってい} クロッシオン 送信内容 	 ・変更分 打刻・集計デ 氏名 グループ 	○ すべて ータ 設定	▲ 保守			
結果 機種 通信モード	道 18 21 7 4 5 C 4 クロッシオン 送信内容	 ・変更分 打刻・集計デ 氏名 グループ 	○すべて -タ -約定	▲ 保守			
結果 機種 通信モード	道 間 211 4 5 C 4	 ・ 変更分 打刻・集計デ 氏名 グルーブ 	○ すべて - タ - 約定				



[運用設定]をタイムレコーダーごとに変更している場合*1は、以下の設定もご確認ください。

- ① [設定]→[契約タイムレコーダーの設定]を開く
- 2 故障機の識別番号(拠点名)を選択し、[通信内容]タブ・[切替時刻]タブを確認
- ③ 代替機の識別番号を選択し、[通信内容]タブ・[切替時刻]タブに②と同じものを選択
- ④ [日常処理]→[通信処理]画面で、クロッシオンを選択
- 5 [選択通信]をクリック
- ※1 クロノスPerformanceで設定を登録している必要があります。

タイムレコーダーで設定をしている場合は、代替機で設定が必要です。

6. 代替機で通信確認

代替機がクロッシオンと通信された後に、カードをかざして打刻ができることをご確認をください。

🏈 🗴 Ŧ

テレタイムC-Xは、以下のいずれかのタイミングでクロッシオンと通信されます。

- ・1時間に1回の定期通信
- ・タイムレコーダーの再起動

Cールについて

テレタイムCは操作パネル等が一切ないため付属のCツールですべての設定をおこないます。

Cツールは本体と同梱されていますので、任意の PC でご利用ください。インストール等は一切不要です。

起動

① Cツールを起動する PC とテレタイムCを付属の USB ケーブルで接続します。



② 商品購入時に付属されてるメディア「App」フォルダ内にある「CTool.exe」を任意のフォルダにコピーして実行します。 ※メディアがない場合は、以下 URL よりダウンロードしてください。

https://www.xronos-inc.co.jp/support/supportinfo/toolManual/

テレタイムCのリリースに伴い、テレタイムCを設定するための設定ツールを用意いたしました。 製品に添付のメディアに収納されていますが、メディアがない場合は、こちらからダウンロードしてご利用ください。 E断情報 (2018年3月7日) 1. テレタイムCクテウドで登録したIDm情報が、クラウドサーバーへ反映されるよう変更しました。 2. テレタイムC.Xで登録したIDm情報が、クロッシオンへ反映されるよう変更しました。 2.利用方法 下記ファイルをダウンロード後、解凍してください。		
製品に添付のメディアに乾納されていますが、メディアがない場合は、こちらからダウンロードしてご利用ください。 単新情報 (2018年3月7日) 1. テレタイムCクラウドで登録したIDm情報が、クラウドサーバーへ反映されるよう変更しました。 2. テレタイムCスで登録したIDm情報が、クロッシオンへ反映されるよう変更しました。 (利用方法 下記ファイルをダウンロード後、解凍してください。	テレタイムC	のリリースに伴い、テレタイムCを設定するための設定ツールを用意いたしました。
B新情報(2018年3月7日) LテレタイムCクラウドで登録したIDm情報が、クラウドサーバーへ反映されるよう変更しました。 2. テレタイムCスで登録したIDm情報が、クロッシオンへ反映されるよう変更しました。 (利用方法 FRDフケイルをダウンロード後、解凍してください。	製品に添付	のメディアに収納されていますが、メディアがない場合は、こちらからダウンロードしてご利用ください。
 テレタイムCクラウドで登録したIDm情報が、クラウドサーバーへ反映されるよう変更しました。 アレタイムCズで登録したIDm情報が、クロッシオンへ反映されるよう変更しました。 (利用方法 下記ファイルをダウンロード後、解凍してください。 	更新情報(2018年3月7日)
 テレタイムCXで登録したIDm情報が、クロッシオンへ反映されるよう変更しました。 (利用方法 ドロファイルをダウンロード後、解凍してください。 	1. テレタ	イムCクラウドで登録したIDm情報が、クラウドサーバーへ反映されるよう変更しました。
1利用方法 下記ファイルをダウンロード後、解凍してください。	2. テレタ	ヤイムC-Xで登録したIDm情報が、クロッシオンへ反映されるよう変更しました。
下記ファイルをダウンロード後、解凍してください。	ご利用方法	
	下記ファイル	をダウンロード後、解凍してください。
解凍後は、『テレタイムC』取扱い説明書.pdfの内容に従ってご利用ください。	解凍後は、『	テレタイムC』取扱い説明書.pdfの内容に従ってご利用ください。
	1	FレタイムC設定ツール「Cツール」(ZIP:1:57MB)
① テレタイムC設定ツール「Cツール」(ZIP-LSTMB)		